

日本でも数少ないエンジンアナライザー。電装の複雑な現在の車でもベストのセッティングができる



走ったフィーリングだけでは正確なデータは取れない。シャシーダイナモで何回もデータを取る



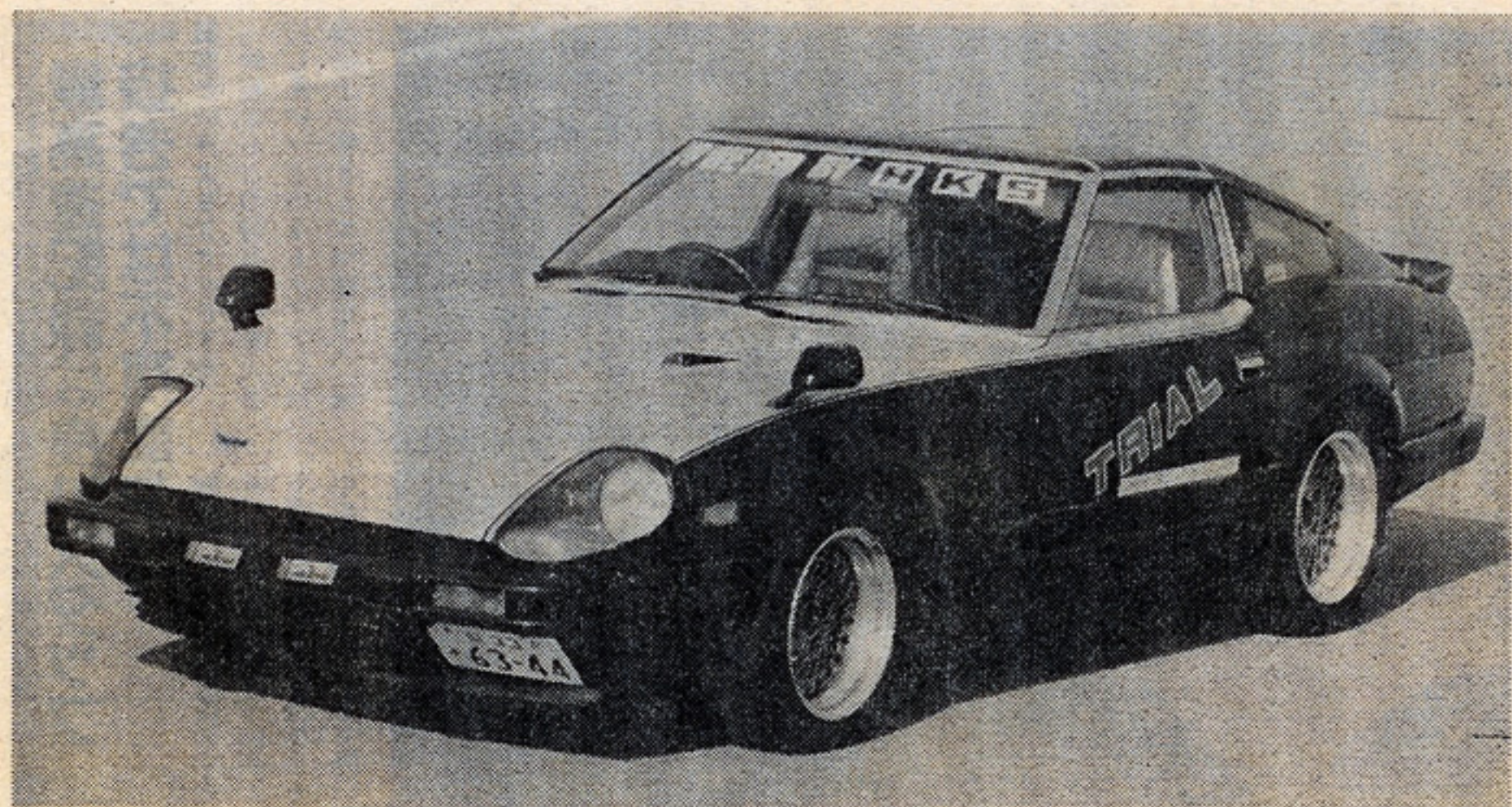
頃で、「公道をレーシングタイヤで走ってもおこれなかった時代だったんだ。もう、みんなメチャクチャやとったわ。それからS30Zが4台に240Zが3台、S130Zが2台……その他数えきれんほど乗ったけど、だいたい平均して9カ月くらいで乗り換えてたね。僕

## 難しい車こそチューナー魂がさわぐ。今の車は面白い!

■やっぱりバランスが大切  
「チューニングをやり始めた頃は速さばかりを追求していた」

は飽きやすいんやね。ちょっと前までは430のセドリックを持ってたんだけど事故でつぶしてしまっ、現在は愛車ナシというわけです。今度はAE86やMR2みたいな走っていて楽しい車にしようかな。」  
車は赤い色が似合うヤツがいい。スポーツカーといえば、やっぱり赤が一番。そんな理由でZを選んだ、という彼は718年も前から、モーターマガジン誌の谷田部テストに参加。2・7ℓのS30が237km/h、ゼロヨン13秒台を出した。  
「このZが僕の愛車の中で一番思い出があるな」と語る。  
「4輪も面白いくど2輪も面白いくど。ちょっと前までホンダNS400Rに乗っていたんだ。2輪は跨った瞬間から運転に集中せにゃあかん緊張感がいい。4輪と違う神経の使い方が面白く、恐いんや。同じゼロヨン12秒でも恐さがちゃうヨ」と、2輪の本質も御存知でありました。

彼は、次第に、進化し、今では「これはチューニングカーにとって最大の要素だけど、足ま



最高速307.955km/hを誇るS130Z。次は314km/hだ!